

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハッピーキッズ		
○保護者評価実施期間	年 月 日		～ 年 月 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	0	(回答者数) 0
○従業者評価実施期間	R7年 1月10日		～ R7年 1月17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 1月22日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多機能型のため、年長児童が卒園後も慣れた事業所に継続して通所できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童や保護者のニーズに合わせて、他施設利用についても助言をしている。(居住地の近くの放課後デイや、学習特化の放課後デイなど) ・就学後も安心して通えるように、年長児童のご家庭には必要なサービスのご要望を聞き、実現可能かその都度検討している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度は実際に放課後等デイサービスの提供がはじまるため、児童の行動観察や保護者からのアセスメント、学校側からの情報をもとに必要な支援を検討していく。
2	すでに営業している同法人内の放課後等デイサービスがあるため、実際の小学生の様子や課題などを共有できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・事例検討やケース会議、研修を2事業所合同で行っている。 ・必要な知識や技術、支援方法について、共有できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お預かりする児童個々によって特性や抱える課題が異なるので、事業所内で支援のデモンストレーションを行うなど取り組んでいきたい。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	幼児と小学生が混在するため、活動のスペースの確保が難しい。	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢や特性によって、各部屋を時間でわけて行き来することが難しい児童もいる。 ・1階の活動スペースが二つに限られている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・可能な児童のみ、活動場所を時間で区切ったり、戸外活動を積極的に取り入れるなどして、児童の安全と安心を確保しながら、必要なサービスを提供できるように工夫する。 ・年長児と小学生の組み合わせで、異年齢交流を行うようにする。
2			
3			